



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日
東

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所
コード番号 3474 URL https://g-fac.jp/
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 片平 雅之
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 田口 由香子 (TEL) 03-5325-6868
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,772	14.7	12	—	10	△37.7	5	—
2023年12月期第3四半期	4,160	19.8	0	△99.9	16	△90.7	△85	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 38百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 △46百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	0.86	0.86
2023年12月期第3四半期	△13.23	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、2023年12月期第3四半期は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,529	1,793	37.8
2023年12月期	4,557	1,727	36.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,714百万円 2023年12月期 1,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,261	11.8	△16	—	△27	—	△70	—	△10.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社M. I. T

(注)当社を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社であった株式会社M. I. Tを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	6,799,000株	2023年12月期	6,780,000株
2024年12月期3Q	300,000株	2023年12月期	300,000株
2024年12月期3Q	6,493,857株	2023年12月期3Q	6,479,582株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、人手不足や物価高を背景に、人材確保の必要性が強く意識されたことや賃金上昇圧力が強まったことから、雇用や所得環境が改善したことに加え、インバウンド消費の拡大等により緩やかな回復基調が続きました。一方で、世界的な金融引き締め、急速な円安の進行や物価上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、外国人観光客が増加し、インバウンド需要の回復による客数の回復も見られるようになりました。一方で、継続した原材料価格・光熱費の高騰や人件費の上昇等から、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、日本国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となれるよう努めてまいりました。また、経営サポート事業と飲食事業の連動によって、当社独自の「プラットフォーム」を形成し、両事業を併せ持つことによるシナジー効果で収益を創出するビジネスモデルを確立し、各事業で収益が発生する「名代 宇奈とと」のライセンス展開や、飲食事業で培ったノウハウや課題解決力を活かし、時代と共に変化する飲食店経営のニーズに対応した新サービスの提供を推進してまいりました。さらに、中期展望の実現に向けて、国内及び海外の管理体制強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,772,173千円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益は12,925千円（前年同四半期比8,846.6%増）、経常利益は10,328千円（前年同四半期比37.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,599千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失85,712千円）となりました。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 経営サポート事業

当第3四半期連結累計期間においては、退店希望顧客や空き物件の情報の入手と出店希望顧客のサポートが進み、契約数を伸ばすことができました。また、外国人材紹介サポートの案件増加も売上高の増加に寄与いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は2,188,416千円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は351,273千円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

② 飲食事業

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが展開する「名代 宇奈とと」においては、国内及びインバウンド需要の回復から既存店の売上高が増加いたしました。また、昨年オープンした新店舗の通年寄与により、レストラン業態及び海外店舗の売上高が増加いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は、2,583,757千円（前年同四半期比18.6%増）、営業利益は82,052千円（前年同四半期比76.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間の資産は前連結会計年度末より28,290千円減少して4,529,203千円となりました。これは主に、建物及び構築物が47,193千円、流動資産その他が36,904千円、差入保証金が61,006千円増加した一方で、現金及び預金が117,618千円、リース投資資産が22,381千円、有形固定資産その他が36,130千円減少したことによるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間の負債は前連結会計年度末より94,118千円減少して2,735,403千円となりました。これは主に、流動負債その他が33,278千円、長期預り保証金が59,630千円増加した一方で、買掛金が23,599千円、1年内返済予定の長期借入金が54,417千円、長期借入金が107,391千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より65,828千円増加して1,793,800千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が32,169千円、新株予約権が25,272千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,504,837	1,387,219
売掛金	129,543	115,687
リース投資資産	69,681	47,300
商品	58,817	56,778
その他	279,867	316,772
貸倒引当金	△202	△137
流動資産合計	2,042,545	1,923,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	955,772	1,002,966
その他（純額）	175,698	139,568
有形固定資産合計	1,131,471	1,142,534
無形固定資産		
のれん	13,520	—
その他	3,500	14,899
無形固定資産合計	17,020	14,899
投資その他の資産		
差入保証金	1,167,835	1,228,842
その他	201,761	222,446
貸倒引当金	△3,140	△3,140
投資その他の資産合計	1,366,456	1,448,148
固定資産合計	2,514,948	2,605,582
資産合計	4,557,493	4,529,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	144,920	121,321
1年内返済予定の長期借入金	195,882	141,465
未払法人税等	3,575	—
賞与引当金	—	17,230
その他	589,989	623,267
流動負債合計	934,367	903,284
固定負債		
長期借入金	928,960	821,569
長期預り保証金	834,089	893,719
その他	132,105	116,829
固定負債合計	1,895,154	1,832,118
負債合計	2,829,521	2,735,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,357	51,307
資本剰余金	630,180	631,130
利益剰余金	1,105,097	1,110,697
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	1,541,702	1,549,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	894	718
為替換算調整勘定	132,119	164,288
その他の包括利益累計額合計	133,013	165,006
新株予約権	37,362	62,634
非支配株主持分	15,893	16,956
純資産合計	1,727,972	1,793,800
負債純資産合計	4,557,493	4,529,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	4,160,634	4,772,173
売上原価	2,208,531	2,469,174
売上総利益	1,952,102	2,302,998
販売費及び一般管理費	1,951,958	2,290,073
営業利益	144	12,925
営業外収益		
受取利息	493	261
受取配当金	0	92
為替差益	16,721	—
受取補償金	—	1,301
その他	4,578	2,974
営業外収益合計	21,793	4,630
営業外費用		
支払利息	4,804	5,452
為替差損	—	1,396
その他	565	378
営業外費用合計	5,369	7,227
経常利益	16,568	10,328
特別利益		
固定資産売却益	—	502
違約金収入	16,502	1,088
受取和解金	4,560	3,134
特別利益合計	21,063	4,725
特別損失		
固定資産除売却損	23,062	1,245
和解金	1,550	6,988
特別損失合計	24,612	8,233
税金等調整前四半期純利益	13,018	6,820
法人税、住民税及び事業税	75,879	23,528
法人税等調整額	20,184	△22,476
法人税等合計	96,064	1,052
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83,045	5,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,667	168
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△85,712	5,599

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83,045	5,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	463	△176
為替換算調整勘定	35,898	33,063
その他の包括利益合計	36,362	32,887
四半期包括利益	△46,683	38,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50,120	37,592
非支配株主に係る四半期包括利益	3,437	1,062

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,982,923	2,177,710	4,160,634	—	4,160,634
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,982,923	2,177,710	4,160,634	—	4,160,634
セグメント利益	317,230	46,548	363,778	△363,634	144

(注) 1. セグメント利益の調整額△363,634千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,188,416	2,583,757	4,772,173	—	4,772,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,188,416	2,583,757	4,772,173	—	4,772,173
セグメント利益	351,273	82,052	433,325	△420,399	12,925

(注) 1. セグメント利益の調整額△420,399千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	122,017千円	131,856千円
のれんの償却額	40,560 "	13,520 "